

2025年度 中国・四国工学教育協会 産業教育部会 見学会

●見 学 日

2025年12月11日（木）

●見学スケジュール（予定）

集合 8:20	8:30~9:40 貸切バス	10:10~10:45 フェリー(貸切バス)	10:45~10:50 貸切バス	見学 10:50~12:00	12:00~12:10 貸切バス
広島駅新幹線口	~~~~ 安芸津港	==== 大西港	~~~~	観智学園（見学）	~~~~ CR 実証拠点
12:10~13:00	見学	13:00~14:50	14:50~15:00 貸切バス	見学 15:00~17:00	17:00~17:05 貸切バス
昼食(CR 実証拠点会議室)	CR 実証拠点		大崎クールジェン	~~~~	大西港
17:25~18:00	18:00~19:30				
大西港	==== 安芸津港	~~~~ 広島駅新幹線口			

●見学場所

□広島県立広島観智学園中学校・高等学校

〔概要〕

広島県の「学びの変革」アクション・プランのモデル校として、2019年4月に開校しました。瀬戸内海の豊かな自然環境の中で、先進的な教育に取り組んでいる学校です。

〔特徴〕

- ・国際バカロレア教育：国際的に通用する大学入学資格が取得できる国際バカロレア・プログラムを導入しています。国際バカロレア（International Baccalaureate：略称「IBJ」）：国際的な視野で行動するための能力やスキルを育むとともに、世界中の大学に進学する際に使える入学資格（国際バカロレア資格）を得る学習プログラム。
- ・グローバルな人材育成：英語教育に力を入れており、多くの授業が英語で行われています。
- ・全寮制：生徒は6年間、島で共同生活を送ります。
- ・少人数教育：1学年の定員は40人程度で、きめ細かな指導を行っています。

□カーボンリサイクル実証拠点

〔概要〕

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が整備した火力発電所から回収したCO₂を研究に利用できる、国内初の拠点です。

〔特徴〕

隣接する大崎クールジェン（株）の次世代火力発電実証設備から、分離・回収されたCO₂が直接パイプラインで供給され、実際の排出源を想定した環境での研究開発が可能となります。

□大崎クールジェン

〔概要〕

石炭ガス化による高効率発電と二酸化炭素（CO₂）の分離・回収を組み合わせた「革新的低炭素石炭火力発電」の実証事業を行っています。

〔特徴〕

- ・高効率発電：石炭をガス化して、ガスタービンと蒸気タービンの両方で発電する「酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）」という方式を採用しています。
- ・CO₂分離・回収：CO₂を効率的に分離・回収する技術を組み合わせ、CO₂排出量を大幅に削減することを目指しています。実証試験では、90%以上のCO₂回収率を達成しました。
- ・燃料電池：燃料電池を組み合わせ「CO₂分離・回収型IGFC」の実証も行われ、石炭から水素を取り出し、水素発電も可能なシステムであることを示しました。

●対 象 者・募集定員

中国・四国工学教育協会会員、協賛学会・団体会員、学生：20名（先着順）

●参 加 費 ￥1,000-（昼食付）

集合場所までの交通費は、自己負担をお願いします。

●申込み期限

2025年11月14日（金）必着（定員に達した場合、期限前に〆切とする場合があります）

●申込方法

以下のアドレスよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/kVPuNMCvnS>

Forms にアクセスできない場合は事務局へご連絡ください。別途「講演会参加申込書」を送付させていただきます。

●問合せ

中国・四国工学教育協会 大学教育部会事務局（担当 藤川）

〒730-8702 広島市中区小町 4-33 中国電力ネットワーク（株）ネットワーク設備部（技術企画）

Tel：050-8202-3186 Fax：082-544-2684 E-mail：T-SANGYO@pnet.energia.co.jp

●協 賛

中国・四国工学教育協会 大学教育部会、高専教育部会

日本機械学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会、腐食防食学会中国四国支部

電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、電気設備学会、照明学会、

映像情報メディア学会、計測自動制御学会、日本電気技術者協会 各中国支部